

# マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果
5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴



## 参考資料

- 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
- 2) マダニ媒介SFTSとは
- 3) マダニの生活環

Kana S. Illustrations  
衛生昆虫写真館 Photos

## マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部

Tel: 03-5285-1111 (代表)

Fax: 03-5285-1178

e-mail: [info@nih.go.jp](mailto:info@nih.go.jp)

## SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所

Tel: 03-5285-1111(代表)

厚生労働省健康局結核感染症課

Tel: 03-5253-1111(代表)

# 1. マダニの生息場所

**マダニ**は、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



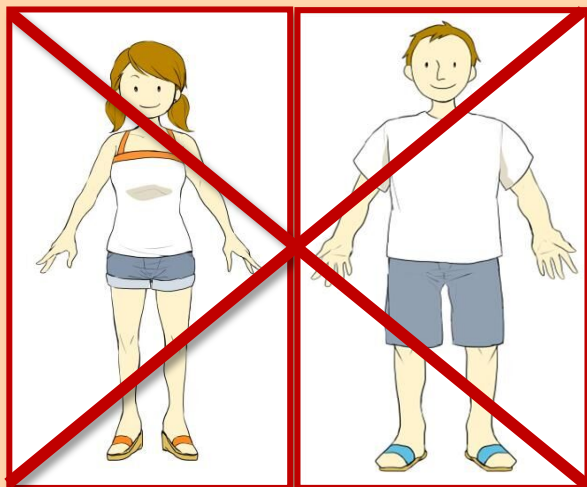
**マダニ**は、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。



## 2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、  
ハイネックのシャツを  
着用しましょう。

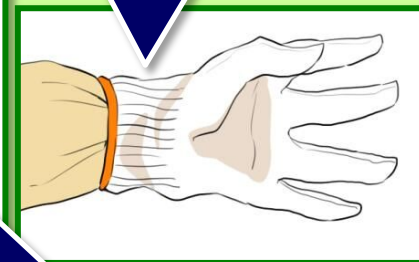


半ズボンやサンダル履き  
は不適當です！

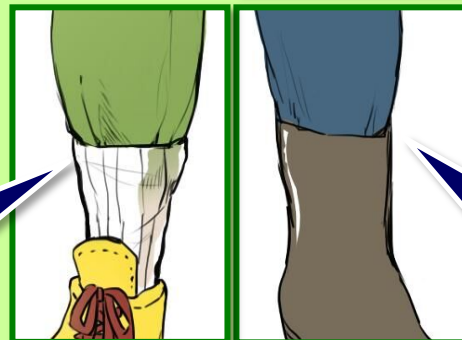
ハイキングなどで山林に入る  
場合は、ズボンの裾に靴下  
を被せましょう。



シャツの袖口は  
軍手や手袋の中に  
入れましょう。



シャツの裾はズボン  
の中に入れましょう。



農作業や草刈などでは  
ズボンの裾は長靴  
の中に入れましょう。

### 3. マダニから身を守る方法

**上着や作業着**は、  
家の中に持ち込まない  
ようにしましょう。



屋外活動後は、  
**シャワーや入浴**で、  
ダニが付いていないか  
チェックしましょう。



**ガムテープ**  
を使って服に  
付いたダニを  
取り除く方法  
も効果的です。

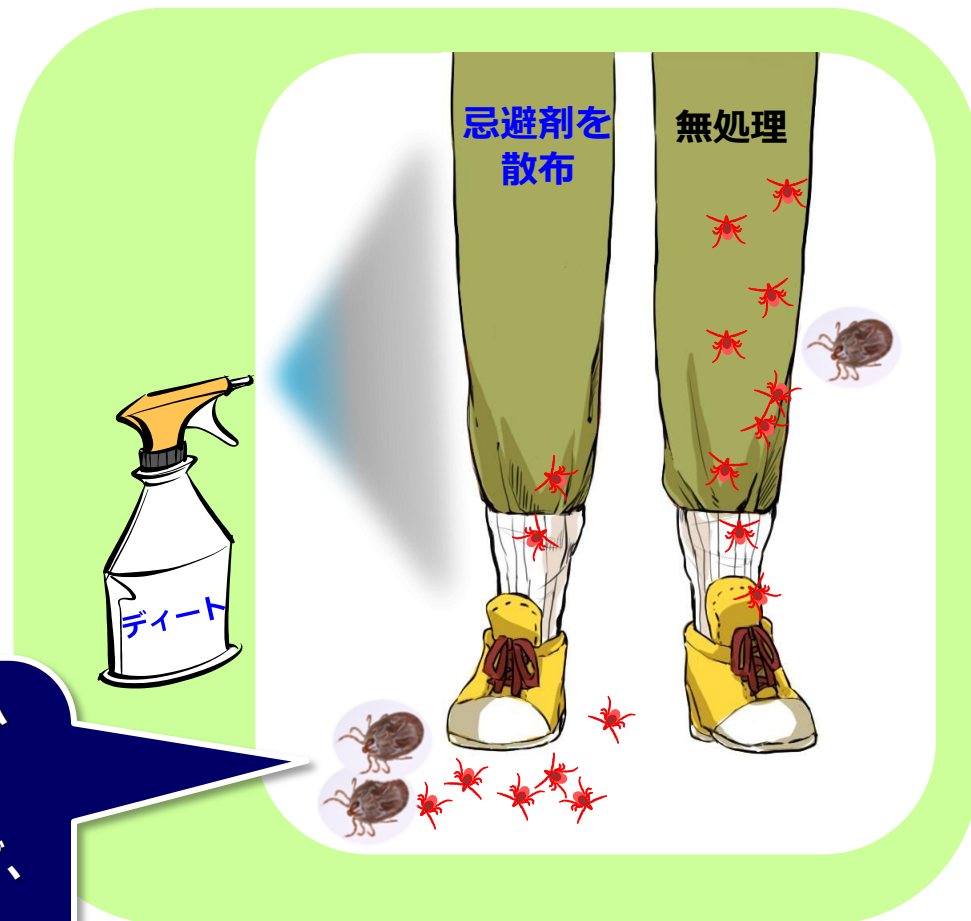
ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

**マダニに咬まれたら**、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

## 4. 忌避剤の効果

**マダニに対する忌避剤  
(虫よけ剤)** が、2013年から  
新たに認可されました。  
現在は、ディート、イカリジンの  
2種類の有効成分の忌避剤が市販  
されています。

**忌避剤**の使用でマダニの付着数は減少  
しますが、マダニの付着を完全に防ぐ  
わけではありません。忌避剤を過信せず、  
様々な防護手段と組み合わせて対策  
を取ってください。

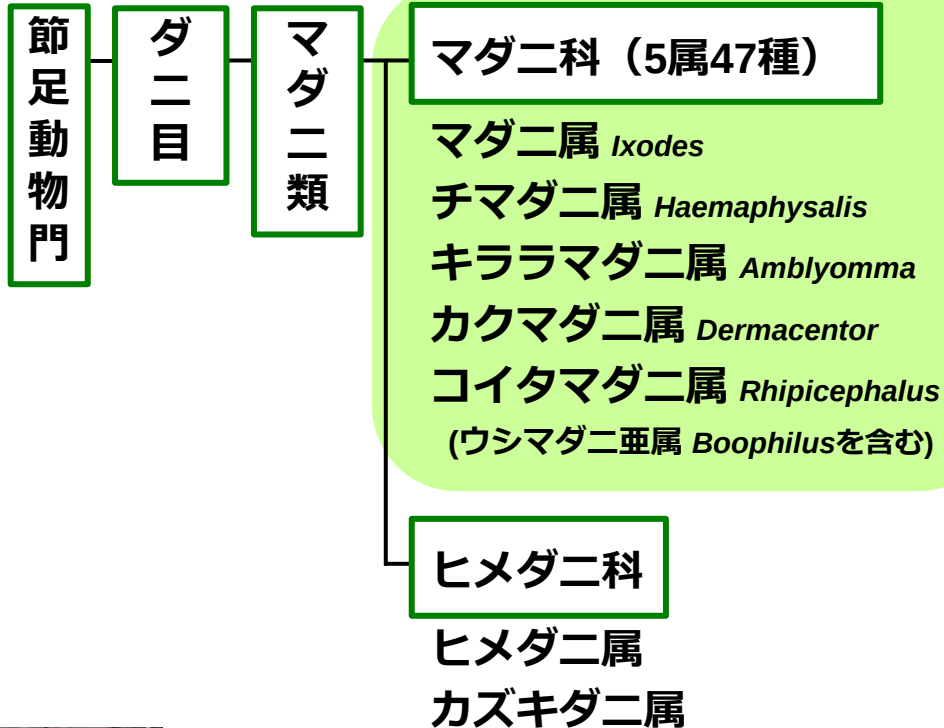


## 5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

| 忌避剤   | 有効成分<br>含有率   | 分 類          | 効力持続<br>時間 | 注意事項                 | 特 徴                                                          |
|-------|---------------|--------------|------------|----------------------|--------------------------------------------------------------|
| ディート  | 5～10 %        | 防除用<br>医薬部外品 | 1～2時間      | 6ヶ月未満<br>児には使用<br>禁止 | ・ 独特の匂い<br>・ ベたつき感<br>・ プラスチック・<br>化学繊維・皮革<br>を腐食すること<br>もある |
|       | 12 %          | 防除用<br>医薬品   | 約3時間       |                      |                                                              |
|       | 高濃度製剤<br>30 % | 防除用<br>医薬品   | 約6時間       | 12歳未満は<br>使用禁止       |                                                              |
| イカリジン | 5 %           | 防除用<br>医薬部外品 | ～6時間       |                      |                                                              |
|       | 高濃度製剤<br>15 % | 防除用<br>医薬品   | 6～8時間      |                      |                                                              |

# 参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

**マダニ**は、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



## マダニが媒介する感染症

( ) 内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)

Q熱 (リケッチア)

ライム病 (スピロヘータ)

ボレリア症 (細菌)

野兔病 (細菌)

**重症熱性血小板減少症候群 SFTS**

(フレボウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)

キャサヌル森林病 (フラビウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱

(ナイロウイルス)

..... など

# 参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

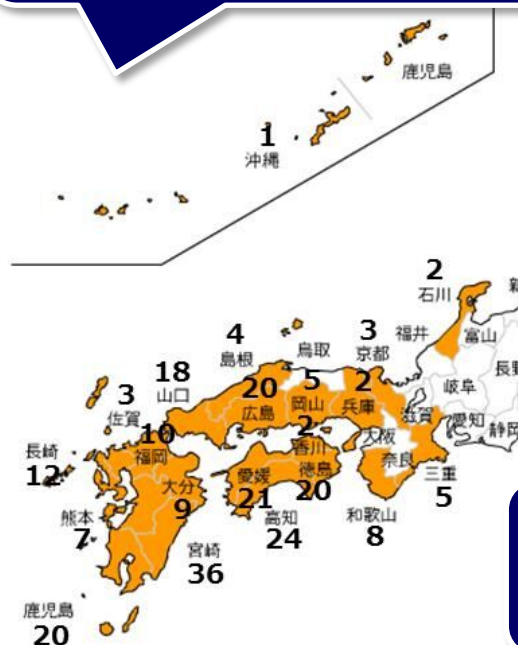
重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告されています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つっています。



**ウイルスの潜伏期間**は（マダニに咬まれてから）**6日～2週間**とされています。

2016年は、西日本を中心とした21府県から届出されています。（ ）内は発症数



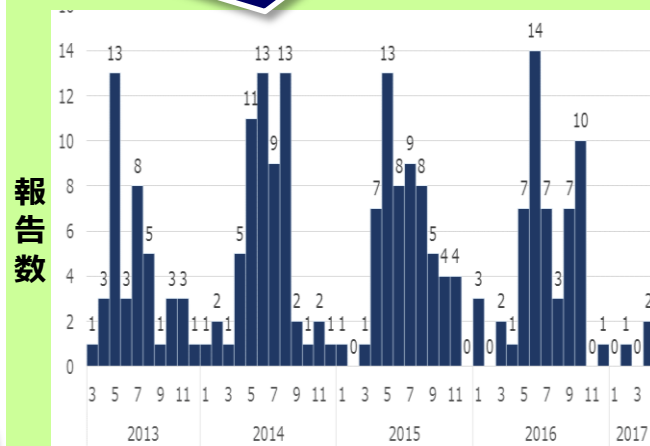
## SFTS患者報告基本情報

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 合計 | 232名 |     |
| 性別 | 男    | 111 |
|    | 女    | 121 |
| 年齢 | 中央値  | 73歳 |
|    | ～20代 | 2   |
|    | 30代  | 4   |
|    | 40代  | 4   |
|    | 50代  | 15  |
|    | 60代  | 66  |
|    | 70代  | 65  |
|    | 80代  | 70  |
|    | 90代  | 36  |

(2017年4月26日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者（合計232名）です。

SFTS患者は**5～8月に多く発症**しています。



患者発症月

資料は、国立感染症研究所ホームページ：  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>を引用

## 参考資料 3) マダニの生活環

